



ボタニカルニュース ～牧野公園情報～

◆冬の公園イメージは？

冬の牧野公園は、茶色や緑ばかりと思っていませんか？確かに花の種類は減りますが、花が何も咲いていない時期はありません。むしろ、花以外にも白い綿毛や赤・黒・青の実など、色とりどりに楽しませてくれます。

園内では、自生や皆で植栽した、「牧野博士ゆかりの植物」約400種類を楽しむことができます。その他の植物や、たくさんありすぎて確認しきれないイネ科やシダ植物も加えたら膨大な数になりそうです。

また、毎週水曜日のはなもり活動（みんなでワイワイ、草引きなどのお手入れをするボランティア活動）も、四季を通してやっていますので、興味のある方は、お気軽にお声掛けください。飛び入り参加も大歓迎です！

◇12月に見頃のお花など♪

A. タイキンギク（堆金菊）

キク科キオン属の多年草。

花：11～2月頃。

B. シマカンギク（島寒菊）

キク科キク属の多年草。

牧野博士の命名植物。

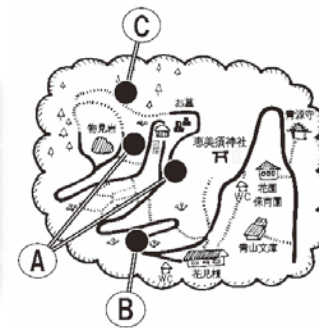
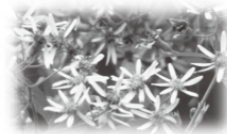
花：11～12月頃。

C. センリョウ（千両）

センリョウ科センリョウ属。

牧野博士の命名植物。

実：11～1月頃。



まちまるごと植物園 ～まちの植物情報～

machimarugoto syokubutsuen

◆ポール・スミザーさん来町♪

講演会のために高知県に来ていた、ランドスケープデザイナーのポール・スミザーさんが佐川町に立ち寄って下さいました！

牧野公園散策、はなもりメンバーお手製シシ汁付きお弁当、ナムンカルスト散策、地質館見学など…。

これからの公園作りの参考になりそうなお話も聞きながら、有意義な交流会となりました☆



◆「ナムンカルスト」

町の中にある植物スポットを少しずつ紹介していこうと思います☆

9月下旬に訪れた際、一面ヒガンバナでいっぱい散策路を上がっていくと、10月中旬にはシユウメイギク、早春にはハルリンドウが咲きそうでした。来年はお見逃しなく♪

※ナムンシがいます！

草刈り前の時期は特にお気を付けてください。



青山文庫だより

家臣たちの身分階層について①

前号でお伝えしたとおり、現在開催中の特別展「佐川領の終焉」から、新たに定義した佐川深尾家の家臣たち（以下、深尾家臣）の身分階層（構造）について紹介します。

佐川深尾家には、A土佐藩から預けられた家臣（土佐藩士）と、B深尾家が独自に雇った家臣（土佐藩士でなく土佐藩側からは「陪臣（はいしん）（家来の家来）」と称される）の二種類の家臣がいます。

江戸初期に区別されたこの二種類の家臣の地位については、概ね、「A＝上士、B＝下士」とされてきました。また、深尾家臣については「士格＝老職・組外・騎馬・騎馬格・扨従（こしやう）格＝老職・組外・騎馬・騎馬格・扨従・扨従格、下士＝茶道・歩行・用人・足軽」というのが概説です。

しかし、この二つの定義（概説）に従うと、「A＝上士＝士格＝老職・組外・騎馬・騎馬格・扨従・扨従格、B＝下士＝陪臣＝茶道・歩行・用人・足軽」となり、幕末期の家臣たちの状況に大きな矛盾が生じます。

よくよく考えると当たり前の事ですが、江戸時代初期以降に雇われた深尾家臣が足軽などの軽微な身分の人たちだけであるはずがありません。この事だけでも「下士＝陪臣」という定義は矛盾してしまいます。また、実際の職制や身分制も江戸時代を通じて変化するため、江戸初期と

幕末期では大きく状況が異なります。

今回、この矛盾を解消する新しい定義を思い付くまで、私は士格の中に「中士」という中間層としての存在を仮定し、上士の中に二階層あると考えていました。ただ、これも「陪臣＝下士」には矛盾しますので、すっきりしませんでした。

ところが、今回の特別展で「佐川領の終焉後、深尾家臣はどうなったのか」を調べる過程で、ふと「身分階層は多重なのではないか」という点に思い至りました。

まず、佐川深尾家との最初の関わりの時点で「土佐藩士であるかどうか」という区別（a根底の区別による身分）があり、これとは別に、実際の職制や身分制の変化を反映した区別（b実際の区別による身分）があり、aは土佐藩と関わりがある場面での区別として機能し、bは佐川領内（佐川深尾家内）での秩序維持を目的として機能したのではないだろうか、というものです。

残存する資料があまりにも少ないので推測の域を出ませんが、この二つの多重構造を前提に考えると、幕末期における家臣の序列が矛盾しません。次号では、具体的な事例を挙げてこの定義を説明しようと思います。（青山文庫 藤田有紀）

へ行事のお知らせ▼

①講演会「佐川領の終焉」（名教館にて）

12月7日（土）13時30分～15時

②展示解説（青山文庫にて）

12月7日（土）15時15分～16時15分

文芸

川柳

寅さんの 忘れ名草の 片想い
雨に咲く 花は優しい 濡ればいろ
福耳へ リングが重く 福が逃げ
和田 憲一

台風が 費を求めて 激昂す
三戸岡 浄（ペンネーム）

俳句

赤い羽根 つけて総理の 颯爽と
味元 佐知子

短歌

築きあぐ 技を糧とし 生きゆけば
老後は楽し この国の現実（いま）
三戸岡 浄（ペンネーム）

絵手紙に 柿や栗など 書き並べ
「さあ、いらっしやい」 八百屋の気分
石鍾山の 紅葉すると 聞かされつ
髪刈るうしろ 鈴虫の鳴く
黒岩 英起

癒されし朝な夕なに彼岸花
枯れ草の中に露と消えゆく
繰り返す気候変動災害の
悲しむ秋に希望と勇気を
福寿草（ペンネーム）

応募先…佐川町教育委員会社会教育係

〒789-1201 佐川町甲356-2

電話22-1110 FAX22-0070

川柳・俳句・短歌を広報さかわに掲載してみませんか？

※1月号への掲載を希望される方は1月1日㈫まで

投稿方法・氏名・住所・電話番号と、川柳・俳句・短歌のいずれの部門かをご記入のうえ封書やはがき、ファックスにてお送りください。応募多数の場合は抽選により掲載します。